



町民投稿(中央小)

元旦に 気持ち新たに 宮参り

(松尾いろは)

おもちつき ぼくものびろと 願いこめ (松尾アム)

2023.1

No.158

松川町議会です

シリーズ 「えがお」



更なる進化をめざして
新構成で議会スタート

2~3ページ

支援を拡充する補正予算
町政を質す 一般質問

4~7ページ

17~19ページ

表紙 おいしい果物を求めて (もなりん)

訳あり
(規格外品)
キスがあっても
おしく召し上が

更なる進化をめざして!

新構成で議会スタート

議長に中平文夫 議員

副議長に間瀬重男 議員

11月29日(火)臨時会を開催し、第17期後半議会に向けた正副議長の選挙による選出、各常任委員会、議会運営委員会など、新議会の構成を決定しました。

審議をつくして政策提言する議会に



議長 中平文夫

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの収束も

なかなか見えませんが、皆様におかれましては、健康やかに新たな年をお

迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年11月の議会の組

織編成替えに際し、議長の要職に就かせていただくことになりました

営となるよう取り組み、誠心誠意職務に努めます。

本年もよろしくお願

いします。



副議長 間瀬重男

令和5年の新春にあたり皆様と共に

お慶び申し上げます。この度の議会組織替えにより

副議長に就任させていただきます

ました。身に余る光栄と共に責任の重

大さを痛感しております。

地方分権が叫ばれる

なか、議会の役割責任が今まで以上に問われております。行政に対する監視機能を果たす

の多様なニーズを地域課題としてとらえ、行政と議会が一体となり

コロナ対策・防災対策・住民福祉の向上を目指す

政策につなげていくことが重要と考えます。

住民の皆様のご指導

ご鞭撻をお願い申し上げます。

副議長就任のご挨拶といたします。

町民のための開かれた議会をめざして

ことはもちろん

ニア新時代を目前

に、住民

の公正かつ円滑な運営と町政の推進に努めてまいります。

14年前初めて議員になりましたが、当時に比べ議会基本条例を軸に開かれた議会を目指し議会も進化してまいりました。今後副議長として議長を補佐し議会の公正かつ円滑な運営と町政の推進に努めてまいります。

住民の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶といたします。

松川町議会の委員会等 新構成

(R4.11.30~R6.11.29)

社会文教常任委員会



副委員長
米山 義盛



委員長
米山 郁子

委員	松井 悦子	委員	黒澤 哲郎
委員	間瀬 重男	委員	中平 文夫
委員	坂本 勇治		

総務産業建設常任委員会



副委員長
塩沢 貴浩



委員長
大蔵 洋

委員	米山 俊孝	委員	川瀬八十治
委員	森谷 岩夫	委員	加賀田 亮

議会運営委員会



副委員長
川瀬 八十治



委員長
米山 俊孝

委員	間瀬 重男	委員	大蔵 洋
委員	坂本 勇治	委員	米山 郁子

広報広聴常任委員会



副委員長
松井 悦子



委員長
加賀田 亮

広報部長	松井 悦子	広聴部長	加賀田 亮
副部長	塩沢 貴浩	副部長	米山 俊孝
副部長	米山 義盛	部員	森谷 岩夫
部員	間瀬 重男	部員	坂本 勇治
部員	黒澤 哲郎	部員	中平 文夫
部員	米山 郁子	部員	大蔵 洋
		部員	川瀬八十治

議会改革推進会議



副座長
米山 郁子



座長
間瀬 重男

委員	松井 悦子	委員	米山 義盛
委員	森谷 岩夫	委員	塩沢 貴浩

下伊那北部総合事務組合議会

議員	中平 文夫	議員	大蔵 洋
議員	間瀬 重男		

リニア対策特別委員会

委員長	森谷 岩夫	委員	全 議 員
副委員長	坂本 勇治		

南信州広域連合議会議員

議員	中平 文夫	議員	米山 郁子
議員	大蔵 洋		

監査委員(議選) 黒澤 哲郎

る緊急支援

補正予算
可決

まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、国決定した。県は国の支援が届かない生活困窮者に対して象者に1人当たり3千円、町民全員に買い物応援券3千され、審議の結果可決された。

令和4年度 一般会計補正予算(第4回)

補正前予算額	補正額	補正後の予算額
70億3,531万円	2億7,940万円	73億1,472万円

主な補正内容

歳出

事業名	補正額
生活支援事業	
電力・ガス・食料品など価格高騰緊急支援給付金	5,707万円
生活困窮世帯緊急支援給付金	1,240万円
子育て世帯生活支援特別給付金	517万円
まつかわのお店応援券	3,975万円
介護クーポン交付事業	147万円
新型コロナウイルス感染症抗原検査助成事業	525万円
地域経済支援事業	
小規模事業者応援給付金	4,000万円
高齢者福祉施設支援事業	102万円
マイナンバーカード交付体制強化	14万円
感染拡大防止対策	
社会教育施設新型コロナウイルス感染症対策	64万円
継続案件	
旧松川青年の家改修工事	1億5,367万円

歳入

科目	補正額
国庫支出金	1億1,042万円
県支出金	1億4,418万円
寄付金	200万円
繰入金	100万円
町債	2,180万円



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実績

項目	令和2年	令和3年	令和4年
通常分	3億7,847万円	1億4,013万円	1億849万円
事業者支援分		1,338万円	
原油価格・物価高騰対応分			5,479万円
電力・ガス・食料品など高騰対応分			5,029万円
合計	3億7,847万円	1億5,351万円	2億1,357万円

くらしを守

令和4年第6回
臨時会
11月1日

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増を踏
は1世帯当たり5万円をプッシュ型で支給をすることを
1世帯当たり3万円を支給。当町として児童手当支給対
円を配布する緊急支援など、一般会計補正予算案が提出

ここが聞きたい!!

町単独

児童手当支給対象
児童の扶養者へ支援

質問 児童一人当り
3千円支給であるが金
額の根拠は。

(塩沢議員)

答弁 物価高騰分とし
て予算配分のシユミ
レーションをしたなか
で決定した。

おきざりか!

高校生補助金

質問 高校生への支援
も要望しているが考え
ていないのか。

(塩沢議員)

答弁 今後の予算を見
て検討のテーブルにの
せていく。



値上り中! 高校生お弁当

緊急支援!
電力・ガス・食料品
など価格高騰による
家計負担軽減

家計負担軽減

質問 低所得者の家計
負担軽減支援で国と県
からの支給対象世帯数
は。

(米山(義)議員)

答弁 国の支援対象は
1016世帯、県の支
給対象は330世帯を
予定している。

給付金に付きまとう

システム改修

質問 町民への現金給
付をする場合のシステ
ム改修費の削減検討は
されているか。

(加賀田議員)

答弁 システム改修費
は支給要件を抽出する
基本的な変更と、速や
かに関係する方に通知
を送るための事務処理
代行を含む。

地方創生交付金の

適正な配分は

質問 商工振興費は一
般財源の半分を充当し
ている。歳入と歳出の
事業配分は妥当なのか。

(加賀田議員)

答弁 基本的には全て
国庫の交付金を充当し
たいという思いで予算
計上しているが、事業
によっては一般財源を

充当せざるを得ない。



値上り中! 生活必需品

いきわたるのか
小規模事業者

応援給付金

質問 支給要件として
以前は売上げ対比20%
減であったが、今回
30%減となっている。
多くの事業者にいきわ
たるのか。

(米山(郁)議員)

答弁 国や県の要件に
合わせたもので、商工
会とも話したうえで決
めた。売上だけでなく
物価高騰による所得金
額減も対象としている。
対象事業者は増えると
推察している。

令和4年12月第4回定例会

一般会計補正予算 物価高騰から家計を守る

12月1日～21日に第4回定例会が開催された。1日に町職員の定年制改定に関する条例、生田支所の移動に関する条例、農業委員の選任、固定資産評価審査委員の選任を可決・同意した。ほか町職員の給与に関する条例、一般会計補正予算(第5回)、国保・介護保険特別会計補正予算(第2回)、水道・下水道事業会計補正予算(第2回)、清流苑事業会計補正予算(第2回)の総括質疑を行い、それぞれ各常任委員会に付託し、各常任委員会での審議結果が、20日の本会議で報告されすべて賛成多数で可決された。

一般会計補正予算(第5回)

(単位：千円)

補正前の額	補正予算額	補正後の額
7,035,314	279,403	7,314,717

主な歳入

(単位：千円)

地方創生臨時交付金	51,863
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	57,066
オミクロン株対応ワクチン接種体制確保補助金	1,350
生活困窮世帯緊急支援事業補助金	12,400
旧松川青年の家施設整備補助金	131,784

主な歳出

(単位：千円)

介護クーポン交付事業	1,472
子育て世帯生活支援特別給付金	5,166
まつかわのお店応援券	39,750
小規模事業者応援給付金	40,000

ここが聞きたい!!

保育委託料増額は

質問 保育委託料530万増額補正の理由は。(塩沢議員)

答弁 町外の保育所を利用する際の委託料で、当初より5人増えたことによる。

保健師の動き

質問 保健衛生費給与増額と報酬増の理由。(加賀田議員)

答弁 一般職で減員が生じたが、10月から会計年度職員が入ったことによるものである。

学生等応援事業

質問 学生等応援送付事業の減額補正はなぜか。(米山(義)議員)

答弁 2年度に続く事業であった。受付を1カ月延長して9月まで行ったが、申込数の減少により、206件の支給に留まったため。

農業振興費増額理由は

質問 新規就農者育成総合対策補助金増の実情は。(米山(義)議員)

答弁 第1期生2人が、3年間の研修を終え、新規就農者となることへの国からの補助金である。

中学校制服購入補助

質問 今回の中学校制服変更に伴う値上がり分を補助する理由は。(加賀田議員)

答弁 制服改定ではできるだけ安いものをとることで、1万2000円ほど値上がりすることになったので、その分を補助することとした。

介護保険への繰出金

質問 介護保険特別会計への一般会計から人件費繰出金についてその事情は。(加賀田議員)

答弁 介護事業に当初予算で計上していた休職中の職員の給与に充当する。

中学校制服補助金の修正動議は否決。原案を可決！

議会最終日、議員発議により一般会計補正予算に対する修正動議が提出された。中学校の制服補助金ひとり1万2000円補助となる原案の144万円から増額補正し、制服代全額3万8940円の467万2800円を増額補助するもの。

討論

修正案に賛成

自治体として子育てに力を入れていけると大いにアピールできる。

(加賀田議員)

大きな子育て支援になると思う。制服代の負担が大きな家庭も多い。

(米山(義)議員)

新制服を機に新たな補助をと提案してきた。子育てに特化した町になればと思う。

(坂本議員)



差額補助は行政からすれば支援であるが、保護者からみると負担は変わらず子育て支援は変わらなっていない。

橋木村では全額支援である。支援拡充になるように増額すべき。

印象。新制服の負担の増額分を出すという議論だった。(森谷議員)

(黒澤議員)

事業は継続性がないといけない。町が全て

原案に賛成

修正案は唐突という

負担すると制服の所有権も問題になってくる。

(米山(俊)議員)

保護者の方とも協議した結果増額分の補助になった。(川瀬議員)

人事

農業委員会の12名を選任。

米山 広敏 氏

大場 健彦 氏

松下 敏章 氏

斎藤 和勇 氏

大澤 政弘 氏

牛久保 守 氏

米山 孝広 氏

下澤 隆治 氏

北沢ひろみ 氏

佐々木孝子 氏

古谷はるみ 氏

大島 理可 氏

固定資産税評価委員

の選任

下澤 和彦 氏

人権擁護委員の推薦

紫芝 綾子 氏

請願

請願3

安全・安心の医療介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願

賛成

再審請求をさせない現行制度を変え、冤罪を主張できるよう地方議会でも議論していくべき。(米山(義)議員)

審査結果

委員会では「賛成4・反対1」で採択。本会議では賛成多数で採択。

請願5

「設計委託業者の設計金額II落札予定価格」を止めるための請願

審査結果

委員会では「賛成2・継続審査3」で継続審査。その後の委員会でも再審査をおこない精査し「全員賛成」で採択。本会議では全員賛成で採択。

請願4

冤罪被害者を一刻も早く救済するため再審制度の速やかな改正を求める請願

反対

司法制度に密接に係る問題。また検察側の行動を規制するもの。(松井議員)

だより

総務産業建設 常任委員会

委員会、12月7日(水)社会文教常任委員会を行い、
員会判断にて現地調査も実施しました。

と審査を分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

総務産業建設常任委員会は、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・リニア対策課・建設水道課・議会事務局の分野を担当しています。

質問・意見

答 弁

一般会計補正予算

- ①若者定住住宅取得祝金がUターン者・空き家バンク利用者と子育て世帯者と同額では、移住対策としては不十分だ。制度の見直しが必要では。
- ②くだもの里まつかわ応援寄附金の経費を除いた町の収入は。経済効果は。返礼品の調達先の現状は。
- ③テレワーク環境構築事業として購入したパソコンの利用状況と、その成果は。
- ④町民提案型まちづくり事業、2次3次募集しても目標額に達成しない。仕組みを変えるべきでは。

信州まつかわ温泉清流苑事業会計

- ⑤清流苑の管理職の給与・手当について、上半期定期監査で、業績に見合った対応が必要だとの指摘が出されているが。

- ①外への流出防止には、加算金を設けたことにより成果が見られる。大きな目的である移住者を加速させるため、来年度の当初予算に向け精査し検討する。
- ②経費としては5割～6割を支出し、残りが基金へ。経済的な効果は、一定程度地元経済に寄与。返礼品は町内産や町内にかかわりのあるものを扱っている。
- ③本格的な運用は12月1日から。11月の試験運用では、在席と同等の業務ができたとの報告を受けている。
- ④年々申請件数が減少。申請者や選考委員から、ハードルが高く申請しにくいとの意見がある。制度を分析し、検討したい。
- ⑤支配人・副支配人が該当。会計年度任用職員として採用しており、業績に見合った対応は困難。働き方や制度の仕組みを見直し、業務改善を図っていく。

審査を付託された議案・請願

- ・松川町一般職の職員の給与に関する条例などの一部を改正する条例の制定
- ・令和4年度 松川町一般会計補正予算(第5回)
- ・令和4年度 松川町水道事業会計補正予算(第2回)
- ・令和4年度 松川町下水道事業会計補正予算(第2回)
- ・令和4年度 信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第2回)
- ・請願4号 冤罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願

- ・請願5号 「設計委託業者の設計金額＝落札予定価格」を止めるための請願

付託された議案は、一般会計補正予算、特別会計補正予算とも全員賛成であり、原案通り認めることが妥当と決しました。

請願4は賛成4、反対1、請願5は全員賛成で採択しました。



夢膨らむ提跡地利用



改良、洞新線！待たれる信号機

調査・研究

埋立てが完了した関屋原堤、リニア発生土搬出のため道路改良された洞新線、築31年が経過し多くの修繕箇所を抱える清流苑の3箇所の現地視察をしました。

社会文教 常任委員会

社会文教常任委員会は、住民税務課・保健福祉課・教育委員会(こども課・生涯学習課)・会計室の分野を担当しています。

質問・意見

一般会計補正予算

中学校制服変更に伴う支援予算 144万円は。

①中学校費ではなく、教育委員会事務局費に入れた理由は。

②対象人数と今後のスケジュールは。

③金額や購入メーカーについて議論はされたのか。

介護保険事業特別会計

④職員給与費など繰入金増479万円分の歳出はどのようになっているのか。

⑤療養休暇中の職員が復帰した場合の予算などの入出はどうなるのか。

⑥施設介護サービス給付費の負担金補助が6,500万円と増額となった内容は。

委員会

12月5日(月)・14日(水)に総務産業建設常任それぞれ付託された議案について審議しました。委
※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査

答弁

①保護者の負担軽減という意味合いが強く、祝い金や学費応援補助金と同様に教育委員会事務局費に計上した。

②対象は小学6年生116人と転入相談を含め120人。採寸と注文は12月4日に実施済みで3月初旬に手渡す予定。

③検討委員会のなかで価格やメーカーについて議論している。今後何十年か対応するためにも制服専門メーカーを選択した。

④包括的・継続的ケアマネジメント支援の職員が療養休暇中で国、県からの交付金対象にならないので一般会計からの繰入をお願いした。歳出は既に当初予算で計上してある。

⑤一般会計へは随時補正で対応し国、県からの交付金は翌年度清算となる。

⑥新規利用者が15人増え5,400万円の負担増と療養型から医療院に移行した人の利用料が1割程増額している。

審査を付託された議案 令和4年度

一般会計補正予算(第5回)

国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)

後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2回)

介護保険事業特別会計補正予算(第2回)

付託された議案は、一般会計補正予算は反対1、賛成5、特別会計補正予算は全員賛成で、委員会として原案通り認めることが妥当と決しました。

請願3「安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願書」を求める請願については全員賛成で採択と決しました。



縄文人から続く住居跡

調査・研究

敷地の一部を事業者に貸付予定している福与保育園と発掘調査が進められている(仮)元気センター建設予定地の現地調査を行いました。特に4,500年前の住居跡は歴史を感じました。

2年振り各地で開催「議会と語る会」

コロナ禍により各地区での議会と語る会の開催ができませんでしたが、各区、団体の要請を受け10月に開催しました。事前に質問事項をご用意いただくなか、議会としても準備をして臨みました。

コロナ禍ということで、参加人数を制限しての開催としたところもありましたが、各地区の状況、問題など、また町の施策への質問ご意見、また、議会への要望意見と多くのご発言をいただきました。今回紙面の都合上一部ではありますがご紹介させていただきます。

また、ご質問ご意見につきましては、議会で精査し、町へ繋げる事項、議会として議論し提言に繋げる事項と選別し、取り組んでいます。

*印：いただいたご意見 ○印：議員の答弁

上大島地区

令和4年10月5日
参加者 男性16名

* 県道の上片桐バイパス南側先線について説明を。

○ 県に陳情中。高森町・豊丘村と期成同盟の結成も検討している。県は調査費を計上。調査をまとめている段階。

* 青年の家の問題には大きな関心がある。池の平を含めどのような計画なのか。

○ 青年の家を運営する業者は当初1年間のみ委託予定。

* 町はリニアの残土を受け入れる予定があるのか。

○ 前河原道路にリニア残土受入が決定している。福与での圃場整備として残土受け入れ計画もある。

* 鳥獣害対策について。高齢者世帯や空き家周辺では、立木が繁



茂してしまひ手の施しようがない箇所もある。猿対策も含め行政が支援できないか。

○ 研究して行政に提言したい。

* 高森町に比べ、松川町の衰退が激しい。リニア開通後の人口対策は。Uターン者をどう増やすのか。

○ 町のビジョン確立に向けて議会としても考えていく。

女性団体連絡会

令和4年10月12日
参加者 11名

* 議会は町に対して要望書・意見書の政策提案の提出を毎年されてないようであるが、予算に繋がる提案をお願いしたい。

○ 議会として政策提案は毎年ではないが出している。議論や一般質問では個々の議員から出ている。

* 町内には有休家屋土地が有るが、町として活用計画を検討し、活力ある町づくりをして欲しい。

○ 町は平成20年から空き家バンクを運用し28年に空き家対策会議を設けている。空き家財処分の補助を出している。令和元年から宅建南信支部と業務提携している。

* 高森町と人口を競っていたが、今では水



をあげられた。豊丘村の掘越は、民宿ができ凄い。産業の育成にも人口減対策に本腰を入れてほしい。

○ 町が盛り上がるように、女性の皆さまからもアイデアをお寄せいただきながら、議会も取り組みたい。

* 元気センターは早くできて欲しい。

○ 運用開始は令和6年4月からの予定である。

上新井地区

令和4年10月19日
参加者 19名

*議会だよりの内容を
変えても良いのでは。
特集を組んでひとつ
の内容を掘り下げて
ほしい。

○議会だよりの特集は
紙面の都合上毎号取
り上げているわけでは
ない。一年に一回
程度の頻度で組ん
できた。毎号だと深堀
りする時間が厳しい。
自治会対策は議会と
してもしっかり考え
ていく。

*自治会対策会議がス
タートしたが、自治
会からの脱退を止め
る方法を皆で考えて
ほしい。町主導で自
治会の再編成のため
にもっと動いてほし
い。

*自治会は早急に対策
を考えないと解散し
てしまうほどの危機
感を持っている。脱



退を止めるために具
体的な内容の検討を
お願いしたい。

○自治会規模によつて
課題がさまざまであ
る。規模の大きさを
分けるなどの対応を
考えている。

*井水の水量がここ数
年で増水してきた。
水路として対応して
くれないか。

○町も井水は一般河川
としてとらえ始めて
いる。

古町地区

令和4年10月21日
参加者 12名

*自治会や区の課題で、
高齢化が進むなかで
さまざまな事業や役
職、除雪などの地域
の対応作業に負担が
多くなっている。町
や県で対応してほし
い。

○行政と各自治会など
で真剣に取り組んで
いかなければ、先が
見えている。集落支
援員などを含めて、
取り組んでいる。

*議員の成り手不足に
ついて、議会議員を
目指したくなるよう
な工夫を。子育て世
代も生活していける
ように議員報酬を増
額する。仕事をもち
ながらも会議に出席
できるように、夜間
や、休日に開催する
など。また定数削減
も必要では。

○議員報酬だけで生活



するのも難しい。夜
間や、休日に開催す
るのも、女性の参加
は負担が多い。定数
削減に対しても多様
な意見が出なくなる
弊害がある。

*リニア新幹線開通に
向けて松川町をどの
ような町にしていく
のか。

○町の将来展望のビ
ジョンが示されてな
いなか、議会も提言
をしていく。

上片桐地区

令和4年10月22日
参加者 20名

*リニア発生土運搬に
ついて、洞新線が改
修された以後の国道
153号線小松川橋
南と北交差点、鶴部
の信号交差点が非常
に危険な状態になる
のではないかと心配し
ている。

○安全はもちろん生活
面でも影響が最小限
となるよう意見をリ
ニア対策課に出し、
住民の皆様にも十分説
明をするように求め
ている。

*長野県全体の児童数
が減っているなか
で、松川町は10年前
の1300人から
985人に減ってい
て24・4%の減であ
り、これは近隣の町
村と比べても特出し
ていて由々しき事態
だ。町の土地も含め
て有効利用できる利



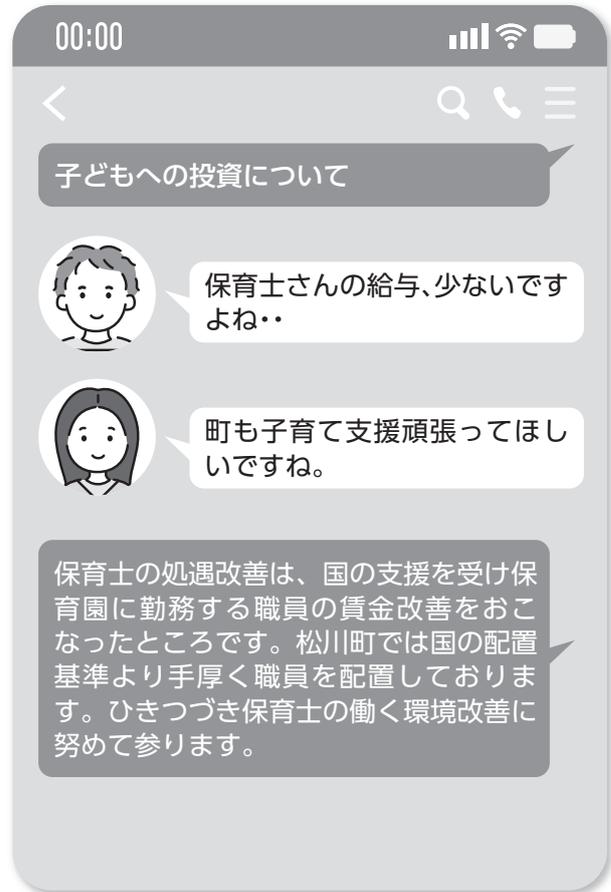
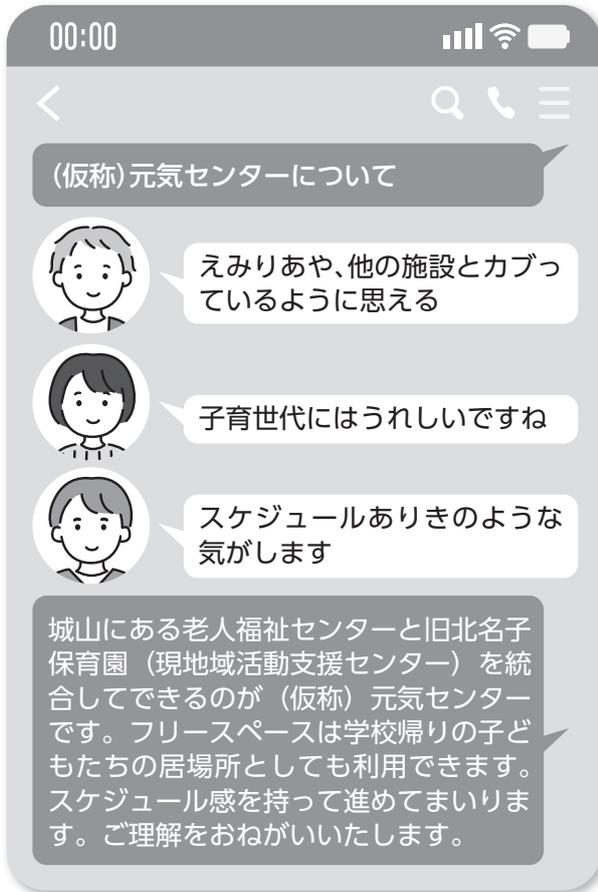
用方法を提案してき
たが、町としての少
子化対策は全く実行
されていない。議会
は、具体的な人口減
少を食い止める政策
を町長と一緒に進め
て欲しい。

○児童数の減少は非常
に驚いている。今の
上片桐のなかでどう
したらいいか、具体
的な策はないが、議
会としても本当に真
摯に受け止めていき
たい。

LINEサポーターの質問にお答えします

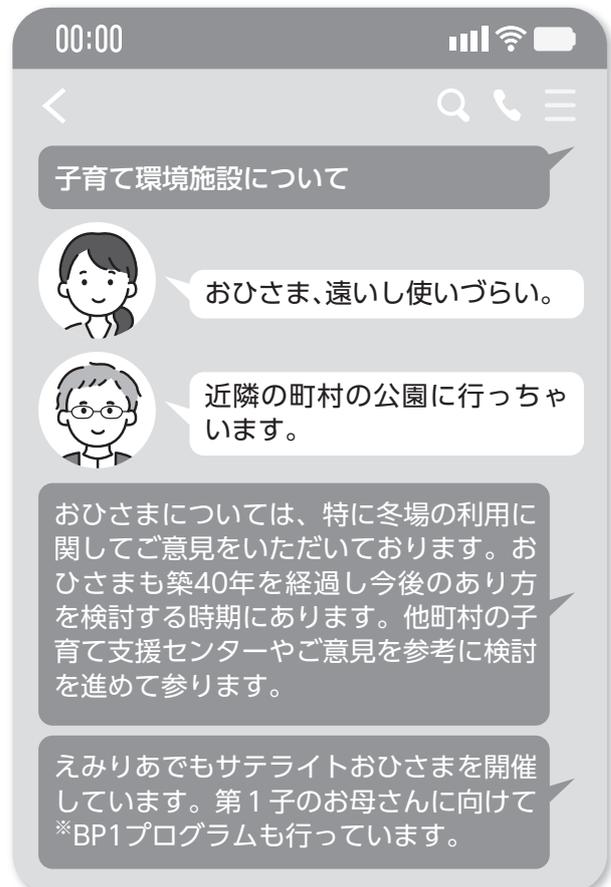


4月より活動を開始しました松川町LINEサポーターですが、10月に皆さまの意見を取りまとめ町に質問書として提出しました。町より回答が寄せられましたので一部ではありますが紹介いたします。なお回答書の全文は町のHPや右記のQRコードでもご覧いただけます。



皆さん気軽に意見を
投稿してくれています。

興味のある方は是非
までアクセスして
みてください。



※BPIプログラムとは、参加型の親子のきずなづくりプログラム

議会の動き・飯伊・北部・中部伊那

下伊那北部ブロック町村議会 議員総会

下伊那北部ブロック町村議会・令和4年議員総会が11月11日(金)午後大鹿村交流センターホールで開催された。

第一部講演会は未来投資研究所SDGs研究室長・小林憲市氏から「今求められるSDGs推進」SDGsは学びから実践へ」との演題であった。

第二部総会では、8月25日にまとめた県への要望陳情13項目について、正副議長による9月22日の要望陳情活動を経て、それらの県議会での採択状況が県議員・熊谷元尋氏から報告された。

要望項目と結果

採択された項目

- ・飯島飯田線飯田以北の整備促進を
- ・竜神大橋の早期完成を
- ・天竜川堤防道路を活用したサイクルロードを
- ・国道153号下伊那北部地区の再整備を
- ・インター大鹿線防災事業の促進、国道152号の通年通行の実施を
- ・運動部活動の地域移行に伴う支援を
- ・森林整備事業の推進

継続審査

とされた項目

- ・森林整備事業の推進



- ・ICT活用の授業づくりに支援強化を
- ・物価高騰による給食費支援強化を
- ・小中学校教育体制の支援強化を
- ・学校図書館(室)の利活用の支援強化を
- ・南信州地域に子ども病院設置を
- ・带状疱疹予防接種の費用助成を

中部伊那町村議会 協議会議員研修会

飯島町・中川村・大鹿村・松川町で構成する中部伊那町村議会協議会は、11月24日飯島町文化館にて、3年ぶりの研修会を行った。研究討議では、第1分科会「産業・建設関係」第2分科会「総務・環境関係」に分かれ、それぞれの議会からの要望事項の説明と質疑・協議を行い、全体会で報告、確認された。続く講演会では、講師に合同会社KUCOサルディング・飯島町CIO補佐官の高橋邦夫氏が、「自治体DXのめざすもの」と題して講演された。

第一分科会

- ・国道153号伊南・南信州北部間改良促進

第二分科会

- ・松川インター大鹿線の防災事業促進、国道152号の通年通行の実施
- ・「飯島飯田線」飯田以北の早期整備促進
- ・小規模木質バイオマス発電活用の森林整備推進
- ・有害及び化学物質過敏症への全県的な取り組み強化
- ・リニア新幹線事業発生土問題
- ・障がい者とひとり親の福祉医療費窓口無料化の実現
- ・不登校児童生徒に對して、多様な学習機会の確保のために経済的支援制度の推進

飯伊市町村議会 議員研修会

飯伊市町村議会議員研修会が10月31日(月)午後下條村コスモホールで「信州大学出前講座」活用事業として開催され、信州大学地域防災減殺センター特任教授・大塚 勉先生から「文化財やジオパークから学ぶ地質と防災」とのテーマで講義を受けた。世界ジオパークの再認定を受けた日本国内9か所の一つの南アルプスジオパークを抱える身近な地形形成について、地質学の専門家から学び、防災について考えた。



町民の皆さんは、町政についての要望や意見、また、国や県へ望むことなどを、「請願」や「陳情」という文書にして、町議会へ提出することができます。

私たちは、日々の生活のなかで、いろいろな問題に出会い、その多くは自分たちで解決していますが、それが市町村や国・県などの仕事で、どうしても自分たちだけでは解決できない問題に出会うこともあります。そこで、町民が町政などについて直接、町議会に意見や要望を言うことができる制度、これが「請願」や「陳情」です。

【請願】

請願とは、日本国憲法第16条に定められた国民の基本的な人権のひとつで、国民(町民)が直接意見や希望を述べることでできます。

内容が町が行う事に該当する場合は町へ、国や県が行う事に該当する場合は、「意見書」として内閣総理大臣や各大臣、県知事などへ町議会から送り、その実現を求めます。

【陳情】

請願と同じように、国や地方公共団体(市区町村)などへ、実情を述べて問題の解決や改善などを求めることです。

請願のように憲法に保障された権利ではなく、法的な効果が発生するものではありません。町議会では、内容によっては請願書と同じように取り扱います。

☆ 議会の審議結果

(調査期間：2015.6～2022.9)

項目	陳情				請願			
	採択	一部採択	不採択	継続	採択	一部採択	不採択	継続
件数	17	1	8	2	21	0	7	2
採択率	61%				70%			

☆ 議会の取り組み事例



R2年3月定例会に「妊婦を対象とした歯科健康検査の実施を求める陳情」が提出されました。

議会で採択

R2年6月定例会一般会計補正予算(第7回)に165,000円の予算が付けられ事業がスタートしています。
妊婦期間中一人1回 全額無料

審議の流れ

受付・受理

請願者は紹介議員を介して、請願書を議会事務局に提出。
(陳情は紹介議員がいりません)
議会事務局では、提出書類について不備などを審議し、問題がなければ受理。

付託

議長が議会に諮り、常任委員会に審査を付託します。

委員会審議

常任委員会で慎重に審議
(質疑・討論の後、採決)

本会議審議

常任委員会の審議結果を報告

可否を採決

常任委員会の審議結果について
(質疑・討論の後、採決)

結果を通知

採択、不採択といった議会の判断は、書面で請願者に通知

提出期日について

請願・陳情書は、定例会の開会日前概ね2週間までに提出してください。

それ以降に提出された請願・陳情書は、次の定例会で審査されることとなりますので、提出期日にご注意ください。

議 決 結 果

令和4年第6回臨時会議決結果

●全員一致で議決されたもの

件名	結果	内容
補正予算 一般会計歳入歳出補正予算(第4回)	可決	2億7,940万3千円を追加し73億1471万7千円とする
計画変更 辺地に係る総合整備計画の変更について	可決	観光販売の促進による産業振興に伴い、景観整備や周辺観光施設の整備を行うため

令和4年第4回定例会議決結果

●全員一致で議決されたもの

件名	結果	内容
条例	松川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 人事院勧告に伴う条例改正
	職員の定年などに関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 職員の定年の引き上げに関する条例
	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決 職員の定年延長の引き上げに伴う関係条例の改正
	町役場支所設置並びにその名称、位置及び所管区域に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 「生田5958-1 みなみ信州農業協同組合生田事業所内」を「生田5940-6 松川町共同福祉施設内」に改める
令和4年度補正予算	令和4年度松川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)について	可決 3630万7千円を追加し、11億7654万円とする
	令和4年度松川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2回)について	可決 40万2千円を減額し、1億7507万8千円とする
	令和4年度介護保険事業特別会計補正予算(第2回)について	可決 7175万9千円を追加し、14億9899万円とする
	令和4年度松川町水道事業会計補正予算(第2回)について	可決 収益的支出 3億1416万1千円 資本的収入 4483万3千円 資本的支出 1億5752万8千円
	令和4年度松川町下水道事業会計補正予算(第2回)について	可決 収益的支出 5億7782万3千円 資本的収入 6億2645万7千円 資本的支出 8億4586万8千円
	令和4年度松川町信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第2回)について	可決 857万円を追加し、4億2502万2千円とする
選任	松川町農業委員会の委員の選任について	同意 米山 広敏氏、大場 健彦氏、松下 敏章氏、齋藤 和勇氏、大澤 政弘氏、牛久保 守氏、米山 孝弘氏、下澤 隆治氏、北沢 ひろみ氏、佐々木 孝子氏、古谷 はるみ氏、大島 理可氏
	松川町固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意 下澤 和彦氏
契約	令和4年度旧長野県松川青年の家長寿命化改修工事請負契約の締結について	可決 契約金: 1億3684万円 契約の相手方: 株式会社 林材木店
推薦	松川町人権擁護委員の選任について	同意 柴芝 綾子氏
陳情・請願	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願	採択 安全・安心の医療・介護実現のため
	「設計委託業者の設計金額=落札予定価格」を止めるための請願	採択 「設計委託業者の設計金額=落札予定価格」を止めるため
発議	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書の提出について	可決 提出者 松井 悦子議員

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

件名	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	黒澤哲郎	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内容
令和4年度補正予算 令和4年度一般会計補正予算(第5回)について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	7763万2千円を追加し、73億9234万9千円とする
請願 冤罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	採択 提出者 日本国民救済会 飯伊支部長 原 正治氏
発議 再審制度の速やかな改正を求める意見書の提出について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決 提出者 加賀田 亮議員
修正動議 令和4年度松川町一般会計補正予算(第5回)に対する修正動議	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	否決 中学制服の負担額を全額負担にするための一部予算変更

10月～12月 主な議会日程

10月 4日(火) 広報部会
5日(水) 議会と語る会(古町地区公民館)
6日(木) 広報部会
12日(水) 議会と語る会(女団連)
19日(水) 議会と語る会(上新井地区公民館)
20日(木) 下伊那北部総合事務組合定例会
21日(金) 議会と語る会(古町地区公民館)
22日(土) 議会と語る会(上片桐改善センター)
24日(月) 議会全員協議会
26日(水) 総務産業建設常任委員会視察研修
27日(木) 総務産業建設常任委員会視察研修
31日(月) 飯伊町村議会議員研修会

11月 1日(火) 第6回臨時会、議会運営委員会、議員協議会
4日(金) 自治政策課題研修会、職員組合との懇談会
11日(金) 北部ブロック町村議会研修会総会

22日(火) 総務産業建設常任委員会
24日(木) 中部伊那町村議会議員研修会
25日(金) 議会全員協議会
29日(火) 第7回臨時会
12月 1日(木) 第4回定例会開会
5日(月) 総務産業建設常任委員会
7日(水) 社会文教常任委員会
12日(月) 広聴部会
14日(水) 一般質問、議員協議会、議会運営委員会、総務産業建設常任委員会
20日(火) 議会改革推進会議、議会全員協議会、定例会最終日
21日(水) 広報部会
26日(月) 広報部会

所信を質す!

一般質問

1. 米山郁子 (17ページ)

・松川町役場は日本一の職場になったか

2. 米山義盛 (18ページ)

・松川町の子育て支援の一環として学校給食無料化への方策を問う
・児童生徒たちの学校生活は健やかであるか

3. 加賀田亮 (19ページ)

・第5次松川町総合計画「改定版」にて掲げた「実績」について問う

一般質問は議員が町長などに対し、事業の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただし説明を求めるものです。

12月定例会では3人の議員が質問をしました。

スペースの都合上質問者の責任において質問、答弁を要約して掲載しています。



一般質問のようす

お知らせ



お詫び

2022年10月発行の157号表紙に掲載しました俳句「満月に雲がうっすらとうせんぼ」の句は松尾いろはさん作でした。松尾いろはさん、松尾アムさんには手違いでご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

今月の表紙

松川町の特産品りんごを遠方から買いに来てくれています。

「どれがいいかな？」

議会の様子がYouTubeで見られます

「松川町議会チャンネル」と検索していただく
と過去の本会議、全員協議会、委員会、各議員の
一般質問の様子を御覧いただけます。ぜひ、検
察してみてください。

県への要望を

知事、県議会に届けました。

9月22日北部ブロック町村議会からの要望書
を正副議長10人と各町村の局長で長野県庁へ行
ってきました。



LINEサポーターメンバー募集

議会では町民の皆様に町政に関心を持っていただき意見交換をするために、LINEメンバーを随時募集しています。どなたでも参加できます。スマートフォンのラインを利用します。



議会サポーター
応募先アドレス

お気軽にご連絡ください。 <https://onl.tw/3nXkpQH>



米山郁子 議員

問 松川町役場は日本一の職場になったのか

答 ICTを含め効果的な運営を検討

人口減少や税収入の落ち込み、コロナ対策などを背景に、自治体の現場は多くの課題に直面している。住民に寄り添った幅広い行政サービスを提供するためにも行政職員満足が必要であり、それが住民満足へと繋がっていく。

現状の職場環境について、いくつかの視点から質した。改善することにより住民満足へと繋がっていくことを願う。

いっぱん質問

(問) 町長は松川町役場を働きやすい職場環境にして、日本一の職場にするという大きな志がある。3年半経過して職場環境整備はされ日本一の職場となったのか。

(町長) 職員が生き生きと仕事をする事で、地域が盛り上がる結果に繋がればとの思いである。現状として日本一の職場になったのか評価が難しい。

(問) 照明、騒音対策、衛生設備、休憩設備など、職員が仕事をするにあたり快適な室内環境は整っているか。

(総務課長) 平成24年の大規模改修時に一定の環境設備改善は整った。適宜見直している。

仕事をし易い工夫は。

(総務課長) 職員安全衛生委員会を定期的に開催し、ヒヤリハットを実施。令和3年度は16カ所改善した。

(問) 職員にとって相談しやすい環境は整っているか。

(総務課長) *メンター制度が相談に役立つ。

(問) 情報の共有や研修の機会は提供されているか。

(総務課) 月2回課長会議を開催し、各課の情報共有をしている。

(問) ストレスチェックと高ストレス者の状況は。

(問) 作業スペースや作業姿勢など、職員が

(総務課長) ストレスチェックは10月に実施、

95・8%が受診。高ストレス該当は10名で、医師の受診を勧奨している。

(問) 職員の配置期間年数に決まりはあるか。

(総務課長) 各課の業務内容ごとの、ワークシェア検討資料を作成中である。

(総務課長) 平均で9・3日、夏季休暇日数を増やすなど対応している。

(問) 年次有給休暇取得の現状は。

(総務課長) 係長以上が2〜3年、スタッフが3〜5年を目安としている。



ちょっと拝見—職員が利用する休憩室

※メンター制度とは、先輩が新人をサポートすること

問

学校給食無料化と不登校問題を問う



米山義盛 議員

答 子育て支援の上で段階的に検討したい

この10年間の小中学生数は松川町では24%の減少と近隣町村と比べて突出している。子育て支援の拡充が強く求められているなかで、他市町村で既に取り組まれている学校給食の無料化は喫緊の課題であり、当町での取り組みを促したい。少子化が進行するなかでありながら、不登校児童生徒の上昇は、学校教育体制のあり方が根本から問われている。地域子ども達への教育に直接責任を負う、教育委員会の取り組みはどうか？

いっぱん質問

(問) 当町児童数が10年前より24%減少していることを、どう受け止めているか。

(町長) 大変重く受け止めている。全国的にも減少のなか、松川町においても、出生数の減少により、今後児童生徒数も減少している。それは、子育て世帯の減少によるもの。令和3年度中の出生数は73名で、児童生徒数の減少は続く予想され、子育て支援施策の多岐にわたる充実が必要と考える。

(問) 今学校給食無料化を求める署名などもどんどん取り組まれており学校給食の無料化に向けた動きを強めていただきたい。

(町長) 今学校給食無料化を求めている署名などもどんどん取り組まれており学校給食の無料化に向けた動きを強めていただきたい。

(問) 子育て世代支援の一環で学校給食の負担を軽減・無料化の動きが広がっているが、当町での取り組みは如何なものか。

(いづも課長) 小学校は1食268円年間200食、二校で641

人分年額3500万円、中学校は1食320円年間200食で、328名分年額2200万円、総額5700万円となる。有機農業の食材活用は町から補助している。また、要保護児童数は、小中学校合わせて84名である。

(問) 少子化のなか、不登校生が急増している学校教育の現状をどう見ているか。当町の実態はどうか。

(教育長) 全国の不登校児童生徒数が令和3年度小学校1000人あたり約13人に対して松川町は18・6人。中学校が全国1000人あたり約50人に対して松川町は64人という状況。さらに学校現場において個別最適な学びと多様な学びを実現していく必要があると感じている。

(問) 全国平均と比べ不登校の子ども数が多いと、学校教育のあり方が今問われていると思うが、教育委員会での議論はどうか。

(教育長) 教育委員会ではさまざま子ども達の学びの場を確保していく上で民間のフリースクールとの連携を考えている。学校においては、新しい学習指導要領の主体的対話的で深い学びと個別最適な学びを追究している。

(町長) 年間5700万円を住民一人一人に割ると1人年額で4500円から5000円程度。いきなり無償化ではなく、段階的に考えていく時期にき



北小学校この学び舎から何人が巣立ったか！



加賀田亮 議員

問 町長の総合計画改定版の実績は

答 やってはい

町長の意欲が込められた「総合計画改定版」の期限は残り1年余だ。この総合計画に掲げた①移住促進、②ICTによる情報化推進、③商工業の振興、④自治会問題、について3年9か月の取り組みと実績を質した。残念ながら実績はほとんどないようだ。口先だけで「やっている」と答弁するも、結果が全く伴わない。これでは信用・信頼すらも失いかねない。来年4月の町長選立候補も明言しない。町政を担う覚悟が本当にあるのかさえ疑わしくなる。

いっぱん質問

(問) ①移住促進が芳しくない。近隣市町村と大きく差が開いた。原因は何か。

(町長) 子育て支援のPRが不足している。

(問) 原因がわかっているのなら、なぜ手を打たないのか。

(町長) 町内の子育て世帯に発信者になってもらうよう依頼している。

(問) それでも移住実績が上がらないという事実を直視しているか。

(町長) 良いアイデアがあるのなら議会から提示しては。

(意見) 全国に成功事例がゴマンとある。それらを研究して試行することすらできていない。この問題に対する

真剣さが足りないのでは。議会に苦言を呈する以前の問題だ。

(問) ②ICTによる情報化推進は。住民向け情報発信が遅いとの苦情も多い。そのうえSNS発信は的外れなものばかりだが。

(町長) 早い情報発信を検討してみる。SNS発信は問題と思っていない。

(問) 職場のICTによる事務効率化の進展は。令和7年の目標に向かった進捗状況は。

(町長) 準備が出来たら議会にも公表するつもりだ。

(意見) 行政に情報発信の明確な指針がない。自律的な公表期限を設けず怠惰である。SNSも他町村の成

功事例に学ぼうとせず、自己満足的な運用だ。職場ICT化も約2年間、進捗情報を議会に報告しない。そもそも整然としたシステム構築計画があるのか疑問だ。

(問) ③商工業振興の実績は。企業誘致件数はあまりにひどい結果だが、原因はどこにあると思うか。

(町長) 紹介できる土地がないことが原因だ。

(問) ④自治会問題の実績は。自治会からの意見は十分に聞いたはずだ。行政として何を実行したのか。

(町長) 町は自治会のあり方を提示するつもりはない。成功事例を紹介するにとどめる。

(問) 「ひとり一人が

輝く」という目標には実績はあるのか。

(町長) コロナで活動できず自然消滅する団体もある。発表の場もなく意欲が上がらない状況だ。

(意見) 町長の意欲が込められた総合計画改定版もあと1年余の期限だ。しかし重要な政策はほとんど実績を上げておらず、追求すれば責任転嫁のような答弁が散見される。口先だけで「やっている」と言うが実績がほとんど伴わない。結果を出せない町政に強い不安を感じる。



「口先だけ」にならぬよう願う

この町に暮らして

人の温かさを感謝する毎日

(清上) 今井浩輔



「松川でいいんじゃない？」と新婚生活をスタートするたに選んだのが松川町でした。私は伊那市出身、妻は喬木村出身で結婚を決めた当初、お互いの仕事や環境を変えなくても暮らせる場所として探したのが松川町です。始めはアパート暮らしで自治会や近所の方との付き合いもありませんでした。子どもが産ま

れ、マイホームを建てると決めた時どの場所にするか考えました。結局松川町が一番落ち着いて暮らせそうだと思います。土地探しを始めました。上片桐に子どもがのびのび暮らせそうな土地を見つけた家を建てて、もうすぐ三年になります。松川町に縁もゆかりも無い我が家に近所の人が採れたての野菜を持ってきて

くれたり、気さくに話しかけてくれて笑顔も多かったり、子育てのアドバイスや励ましをもらったり、周りの人々に支えられていくありがたみを感じています。見ず知らずの土地に住む不安もありましたが人の暖かさに感謝する毎日です。

住み始めた頃は、コロナウイルスが流行って自治会活動が軒並み中止になっており参加できませませんでした。来年度は分館

の社会部長を任せられました。今まで活動が無かったため勝手が分からず不安ではありましたが少しずつ覚え馴染んでいければと思っています。

また、今松川に住んでいる子育て世代の方々ほとんどが松川に実家がある人が多いように感じます。私たちのように松川町を気に入って住む人たちがもっと増えていくってくれたらいいなと思います。美味しい果物、美しい自然、温かい人々がある松川町を私たちは大好きです。

I Have a Dream!

私には夢がある
未来に羽ばたく若者 ● 子どもたち



松川中学校 吹奏楽部

2年生7名、1年生3名で活動しています。今は、アンサンブルコンテストに向けて練習に励んでいます。練習時間が短い中で、仲間と共に音楽を奏でる楽しみを感じながら、個々の技術向上も目指して一生懸命取り組んでいます。いつかまた多くの方々に演奏を聴いていただける日が来ることを願っています。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

広 報 部 (編集委員会)	あ と が き
(部 長) 松井悦子	議会の編成替えにより、広報部会(議会だより編集)のメンバーが変わりました。2年間お世話様になります。どうぞ宜しくお願い致します。(広報部会一同)
(副部長) 米山義盛 塩沢貴浩	
(部 員) 間瀬重男 黒澤哲郎 米山郁子	